

お茶会だより 11月号

矢島保育園R1.12.2(月)

床の間

・掛け軸～「雪やコンコン」・お花～「シシギリテリハ・ツバキ」
・香合～「苦屋」(練香)・お菓子～「金鈴」(練切)

総合案内所でのお稽古を終え、今月からまた保育園でのお茶会となりまして。久しぶりではありまいにか、子ども達にとては慣れ親んだ場所ということもあり、とても落ち着いて、雰囲気の中お茶会が進んでいきました。茶室に入室した時から子どもたちの真剣な表情。そして、姿勢や立ち振る舞いなど一人一人が集中し、気を引き締めて取り組む姿が見られ、植田先生からも何度も褒めて頂きました。

また、普段の生活でも場面を覚えて行動することをいっしょにやっていますが、お茶会を通して覚える力が培われています。この場面では、どんな言葉をつかいた方がいいのか、どんな行動をした方がいいのか...自分で考えたし、周りを見て合わせて行動する力をこれからも養っていきなさいと思います。



今月のお菓子は「金鈴」。「何の形に見えますか?」と聞かれると「すず!!」と答え、「神社にある七五三のお宮参りの金鈴の形なのですよ。」と教えてもらうと「そうなんだあ。」「お参りが済んだ時に見たよ。」と感心しいしはがら、お菓子を味わっていました。

【今月の床の間】



【お稽古の様子】



《掛け軸》「雪やコンコン」

《茶花》「ニシキギノテリハ・ツバキ」

お稽古のあったこの日は、初雪が保育園の屋根を白くした日。植田先生が、外の景色と子ども達の思いを表したかのような色紙を選び、しつらえてくれました。



《香合》^{とまや}「苦屋」



《掛け軸・色紙》
「雪やコンコン」

久しぶりに行った保育園でのお稽古。子ども達の表情も、安心したような落ち着いた様子でした。座る姿勢も、背筋が伸び顔も上がり、植田先生のお話を聞き漏らすまいと意欲的です。



お菓子をいただく箸の
扱い方も慣れてきたぞ

今日は、いつもより
お茶の味も美味しい。

子ども達が上手だから、
緊張するなあ



地域学の実習に来ていた高校生も、お茶会に参加。子ども達が、それぞれの場面に合わせた言葉や作法を考え、お稽古している様子に、高校生も緊張感を感じていました。子ども達の成長が感じられたお稽古でした。